

英文エッセイ・ライティングの実践と課題

杉 浦 正 好

1. はじめに

週刊英和新聞の1つである『朝日ウイークリー』の「英文ライティング道場」を2006年10月から月1回担当してから11年を超えた。中級英語学習者を対象にしたコーナーであり、第1回から第101回（2015年3月）までは和文英訳を課題とし、投稿された英訳作品の添削と講評をAnthony Ryan氏（愛知教育大学准教授）と協同で執筆した。

100回を超えた区切りとして、エッセイ・ライティングに移行するように編集部から提案があり、2015年4月から新方式で投稿を募ることにした。本紙では初の試みであり、入念な打ち合わせを重ねた。その結果、出題は編集部に依頼し、投稿作品を募ることで連載を開始した。

本稿は前半でエッセイ・ライティングの理論的枠組みについて述べ、後半で実際の投稿作品を取り上げ、添削しながら講評を記載することにす。最後に英文ライティングのあり方について検討し、今後の展望と課題に触れながら論を進めたい。

対象となる課題は第1回（2015年4月）から第12回（2016年3月）までの12回分である。論点を明確にするために、投稿された英文は恣意的に加工されている。

2. 英文ライティングとは

英語圏で長く暮らせば、誰でも英語をある程度は聞いたり話せたりするようになる。ところが、読むことになると、英語母語話者であっても本人の努力が日常的に必要である。書くことになる

と、さらに系統的な練習も必要になってくる。

日本の教育現場でも、英語学習の一環としてライティングの指導がなされてきた。ところが、英語のライティングについてこれまで長年にわたって多用されてきた用語は「英作文」であろう。これは、自由英作文やエッセイ・ライティングのみならず、和文英訳も含めた包括的な名称とよいい。その一方で、NHK ラジオ英語会話元講師の松本（1967）が、英語の修行の一手段として和文英訳を推奨したこともあり、学校ではしばしば和文英訳と同一視されることがあった。その混同を避けるため、あるいは、「リスニング」や「リーディング」などの4技能と整合性を持たせるために、「(英文)ライティング」という用語が現在では使用されるようになったと思われる。

2.1 英文ライティングと文法指導

英語学習における和文英訳の効用は大きい（杉浦, 2014）。その一方で、英文ライティング指導としての和文英訳を批判する声は少なからず存在する。英語のライティングについて、望月（2010, p. 149）は、「本来は自分の思うことを英語で書き表す自己表現が最終目標である。」と述べている。秋山（2011, p. 110）も、「書くと言う行為は、本来、自分の考えや経験や感想を人に伝えたり、自分の身の周りに起きた出来事を記録したりするためにある。」と述べている。両者とも、文法形式（form）に頼りがちな従来のライティング指導の反省に基づき、内容（meaning）の伝達を強調する立場をとっている。

それではライティング指導をする際に文法形式についてどのように考えればよいのであろうか。

ライティングの量だけを追求し、文法形式を軽視する指導法でよいのであろうか。

実際に諸外国で教えた経験が豊富であり、ライティングに関して造詣が深い Harmer (2004) は自著の中でライティング指導のあり方を *writing-for-writing* と *writing-for-learning* に区分している。

最初に *writing-for-writing* についての説明を試みよう。

Teaching 'writing for writing' is entirely different, however, since our objective here is to help students to become better writers and to learn how to write in various genres using different registers. (p. 34)

writing-for-writing が「意味内容を伝えるライティング活動」を主な目的としており、望月 (2010) と秋山 (2011) が主唱する「本来の意味でのライティング」と符合する。

それでは、*writing-for-learning* についてはどのような主張を Harmer (2007) はしているのだろうか。

Writing-for-learning is the kind of writing we do to help students learn language or to test them on that language. (p. 330)

英語学習を補助したり、言語知識を確認したりするためのものであろう。*writing-for-learning* はライティングを文法形式の増強手段の一つとみなしているようである。もう少し詳しい説明を試みよう。

Writing has always been used as a means of reinforcing language that has been taught. In its simplest form, teachers often ask students to write sentences using recently learnt grammar. (Harmer, 2004, p. 32)

文法形式の向上を *writing* の付随的な役割として位置づけている。

Ur (1996) は *writing for content* と *writing for form*

に区分し、以下のように述べている。

The purpose of writing, in principle, is the expression of ideas, the conveying of a message to the reader; so the ideas themselves should arguably be seen as the most important aspect of the writing. On the other hand, the writer needs also to pay some attention to formal aspects: neat handwriting, correct spelling and punctuation, as well as acceptable grammar and careful selection of vocabulary. (p. 163)

ライティングの指導の目的について、Harmer (2004, 2007) とほぼ同様な意見であり、文法形式にも同等の重きを置いている。

英文ライティングにおいて、読み手に意味内容(考えやメッセージ)を伝達することが最も重要な目的であるが、形式面(句読点・文法・語彙など)も劣らず重要であろう。

2.2 エッセイ・ライティングとは

「自由英作文」という用語も日本では頻用されている。厳密に言えば、これは書き手がトピックから内容まで自分の判断で書き進める形のライティングを念頭に置いていると思われる。換言すれば、書き手は自分の書きたいことを自由に書くのである。

現実には、「何でもよいから自分の考えを自由に書きなさい」と言われて困った経験を持つ人は少なくない。自分で表現したいことが必ずしもいつもあるとは限らないからである。また、学習者にすべてを任せるのは教室での指導として現実的には適切とは言えない。

この「自由英作文」に最も近似しているのが *creative writing* である。*Longman dictionary of language teaching & applied linguistics* (3rd ed.) によれば、*creative writing* は次のように定義されている。

types of writing such as fiction, drama and poetry that reflect the writer's originality, imagination, feelings and which do not describe factual events.

(Richards & Schmidt, 2002)

すべてが書き手に任されているのではなく、「創作」を念頭に置いていると思われる。Harmer (2007) もほぼ同様の説明を以下のようにしている。

The term *creative writing* suggests imaginative tasks, such as writing poetry, stories and plays. (p. 328)

自由英作文であれ、creative writing であれ、教室では方向性を持たせた指導が求められることになる。

教室での指導を念頭において、米山 (2011) は creative writing を「創作ライティング」と訳し、①エッセイ (essays)、②詩 (poems)、③スキットなどの脚本 (script writing)、④感想文 (reaction) の4つのカテゴリーに分類している。いずれも教員の積極的な指導を示唆している。

本稿で扱うのは上記の①エッセイ (essays) である。essay は *Longman dictionary of language teaching & applied linguistics* (3rd ed.) において次のように定義されている。

(in composition) a longer piece of writing, particularly one that is written by a student as part of a course of study or by a writer writing for publication which expresses the writer's viewpoint on a topic. (Richards & Schmidt, 2002)

上記の定義によれば、書くための課題があらかじめ与えられるなど、ある程度の枠組みが設けられ、内容は書き手に任されている。本課題でのエッセイ・ライティングはこの範疇に入るものとする。

2.3 エッセイ・ライティングの指導と困難点

秋山 (2011, pp. 111-112) は、ライティングの授業で生徒が直面する困難点を次の3点にまとめている。1) 適切な語や表現が思い浮かばない、

2) 何を書くべきか考えがまとまらない、3) 文の構成の仕方が難しい。この内の1点目については、ライティング指導の基礎的な部分である。適切な語句や表現を知らずしてライティングは進まないからである。これはテキスト (text) における分類としては micro-structural properties of texts (McCarthy & Carter, 1994: 54-55) とされ、文法、語彙、結束性が主として関与している。これは和文英訳を通じても学習できるであろうし、指導手段としても有効であろう。

一方、上記の困難点2)と3)を指導するのに特に有効と思われる方法はエッセイ・ライティングであろう。2)に関していえば、エッセイ・ライティングは書くための内容や材料を提供する機会を与えることになる。3)の文構成については、上述の micro-structural properties of texts に対して、macro-structural organization of texts: the patterns which make up larger stretches of text. (McCarthy & Carter, 1994: 54-55) が関与しており、エッセイ・ライティングの根幹を成すものである。書くための文構成を習熟する場となり、考えるための一助となるのがエッセイ・ライティングである。

2.4 エッセイ・ライティングとジャンル分析

代表的な英文構成は、導入部 (introductory paragraph)・本論 (body paragraphs)・結論部 (concluding paragraph) である (大井, 2012, 杉浦, 2007)。この3つの部分はさらに下部の構成へと展開される。その構成はジャンルによって大きく左右される (Harmer, 2004, p. 27)。

We have seen that writing in a particular genre tends to lead to the use of certain kinds of text construction. This must have implications not only for the way people write in their first or main language, but also for the ways in which we teach people to become better writers in a foreign language.

エッセイ・ライティングで重要なのは、どの分

野（ジャンル）の内容であるかを把握し、その典型的な文構成を理解する必要がある。典型的なジャンルとして挙げられるのは、手紙文や広告文であり、独自の文構成を採用している。

Harmer (2004, p. 91) はジャンル分析の重要性について次のように述べている。

Where students are writing within a recognised genre, they will benefit from first analysing that genre before writing within it—although we do not want them to be straightjacketed by it, of course.

本稿では、ライティングの作品の構成を、導入（部）・本論・結論（部）に分類し、ジャンルの概念がライティングにどのように反映および関与しているかを検証してみる。

3. 実践からみるエッセイ・ライティング

課題をジャンルごとに分類することから始める。それぞれの内容から、その展開においてどのような構成が相応しいかを考え、エッセイ・ライティングの指導と書き方について考察する。最後に、それぞれの例の中で、ジャンルとライティングの関わりについて考察することとする。

3.1 手紙文

ライティングは読み手を意識することが求められている。その観点から最適と思われるのが手紙の形式である。

【課題1】

米人気俳優ブラッド・ピットさんに、100ワード程度でファンレターを書いてください。出演した映画の感想を述べた上で、妻の俳優アンジェリーナ・ジョリーさんとの子育ての様子に、興味があると伝えましょう。子育てや家族について、自分の意見を書いていただいてもかまいません。

読み手を最も意識しているのがファンレター（a fan letter あるいは fan mail）である。

1) 導入

典型的なフォーマルな書き出しは、I hope this letter finds you well. である。送る相手によって異なるかもしれないが、あまりよく知らない人に出す手紙の無難な形式である。

ファンレターでは、どのような人が差出人であるかを最初に知らせることが重要である。I am a housewife living in Japan. や My name is Taro Yamada and I live in Japan. I'm a great fan of you and your work. のように、簡単でもよいから自己紹介をしたい。

2) 本論

ファンである理由

ファンになった理由を述べることも大切である。ブラッド・ピットは映画俳優であるので、代表的な作品を引用するのが王道である。映画の題名はイタリック体で書くのが正式であるが、手書きであればその必要はもろくない。Hi. I've been a huge fan of yours since I saw your film *The Curious Case of Benjamin Button*. や I have been a big fan of yours since I saw *Mr. and Mrs. Smith* featuring you and your wife as professional assassins. のように、具体的な映画を取り上げるとよい。

感想は具体的に

ブラッド・ピットのファンであることを印象付けるために、出演した映画の感想を述べたり、どのようにしてファンになったかを知らせたりするとよい。感想を具体的に述べている例が、What fascinated me most was the scene where you called loudly from outside the castle to Hector to challenge him. Your facial expressions in the scene showed much deeper emotions than anger and hatred against your archenemy. である。

家族へ

課題によれば、妻の俳優アンジェリーナ・ジョリーさんに興味があることを伝えることになっている。アンジェリーナ・ジョリーさんについて言及しているのは、I was impressed when I heard she underwent the cancer prevention surgery. I assume it must've been a tough decision. である。子どもや子育てを話題の中心にしているのは、I believe that

it's very important for young kids to spend a lot of good time with their family, because it is said that children cultivate mental toughness and psychological satisfaction through a variety of experiences with their family. や I know you have been involved in the promotion of children's welfare with your wife, Angelina Jolie. である。

3) 結論

最後はきちんとした挨拶が必要である。簡潔であるが余韻が残るようなのが, I hope your children make you happy. や Thank you for reading my letter. や The best of luck to you in the future! である。もう少し詳しく, I do hope you will keep your movie career going and keep working on protecting human rights around the globe. や Thank you so much for taking the time to read my letter, and best of luck to you in the future! とすれば返事も期待できるかもしれない。

一人のファンとしては返事を期待したいものである。強制しない程度にお願いする場合には, I would appreciate it if you would send me a reply. と加えるとよい。

【課題2】

旅行で東京にやってくる海外の友人夫妻が、成田空港から新宿のホテルまでの行き方などをメールで尋ねてきました。返信で、おススメの行き方を教えましょう。時差ぼけ解消を兼ねて、ホテル近くで和食でもゆっくり食べましょうと誘ったり、東京ならではの観光スポットを提案したり。100ワード前後で「おもてなし」提案のメールを書いてください。

来日予定の外国人夫妻宛ての返信メールが課題である。手紙ほどの形式は求められないが、温かいおもてなしの心を表現したいものである。

1) 導入

親しさの程度で文面は異なるが、素直に喜びを表現しているのは, I'm so excited that you are coming to Tokyo. や I'm so happy to learn you are visiting Tokyo! である。特に, Thank you for your

email. I am really glad to hear that you are going to come to Tokyo. I will show you around Tokyo. Count on me. では最後の Count on me. (お任せください) が光る。相互の信頼感が伝わってくる。問い合わせに対する返信メールであることを考えれば, Thank you for your email, informing me of your itinerary. が書き出しとして最適かもしれない。

2) 本論

成田空港から新宿のホテルまで

友人夫妻の問い合わせのポイントはこの部分である。リムジンバスを推奨しているのが, The limousine bus goes directly to major hotels in Shinjuku including your hotel and the ticket counter is easy to find in the arrival terminal. や The bus makes brief stops at a few hotels in Shinjuku including the hotel you will stay at. である。京成電鉄のスカイライナーを紹介しているのが, It will take you to Shinjuku station in 79 minutes and cost 2,659 yen from the airport. です。移動時間と費用を知らせているのも親切である。

東京に着いてから

ホテル近くで和食に誘うことになる。長時間の空の旅で疲れているかもしれないので、無理強いを避けたい。When you've settled down, it would be nice to spend some time together at a quite Japanese restaurant near there. は仮定表現 would を巧みに使うことで、相手に選択の余地を与えている。具体的なレストランを念頭に置いて, I know a good place near the hotel that would be refreshing after your long flight. It's a cozy Japanese restaurant. や The atmosphere is superb and they serve delicious, beautiful seasonal dishes. のようにすれば、少々疲れている相手もその気になってしまう。時差ぼけ解消を理由に挙げて, I hope it will help you ease the jet lag. と一言添えるのもよい心遣いである。

3) 結論

日本語でもそうであるが、意外に難しいのが結びの言葉である。定番で、無難な終わり方は, Looking forward to seeing you again. や I am looking forward to seeing you. Regards. である。I cannot wait to see you. とすれば会いたい気持ちが, Let

me help you to have quality time in Tokyo. とすれば
思いやりの気持ちが伝わる。

【課題3】

春は別れと出会いの季節ですね。これからお別れする人、またはすでにお別れした人の中で、どなたか一人を選び、その人に向けて感謝のメッセージを100ワード前後でまとめてください。

別れの際に文書でメッセージを送ることは最近少なくなっているが、スピーチとしても利用できる。

1) 導入

語数制限もあることから、ほとんどの内容が「呼びかけ」で始まっており、導入と本論の境界線があいまいである。

2) 本論

分類の仕方にもよるが、最も多かったのは友人や同僚へのメッセージである。次に続くのは、投稿者の年代や興味を反映して、亡き父母や恩師である。読み手別に内容を見てみよう。

友人や同僚へ

亡くなった友人に向けて語りかけているのは、I not only liked you but respected you and wanted to be like you. や Thank you for everything. Wait for me for a while. When we meet there, let's sing songs arm in arm. である。予想以上に多かったのが元同僚に対してであり、I reminisce about the happy days with you at O High School. に代表されるように惜別の情が述べられている。一日の時間の大半を一緒に過ごすことが多いため、Sometimes I consulted you about so serious a problem that I did not dare to tell my family. Being with you, I could be just the way I am. I want to thank you again, Mr. S. To me S stands for serendipity. にみられるように、家族以上の存在になることある。荒れた学校で共に奮闘した同僚に対して、Many of the problems seemed to have a lot to do with the students' lack of affection. You attended to them with tolerance, sometimes like Big Brother. Gradually they changed for the better and

our school is calm now. も印象的である。

父母へ

天国の両親に向けて心情を伝えているのは、I should have told both of you more often how much I love you and how much I thank you. Can you hear me say thank-you there? I wish I could see you now and tell you how honored I am to be your daughter. である。亡き父に向けては、You taught me the worth of a person doesn't lie in their educational background or their profession but in their personality or character. が出色である。

恩師へ

自分に英語を教えてくれた先生に対する感謝も多い。Now that we've learned that your health problem forces you to leave our society, I sincerely hope you will get well and make a full recovery. は研究会でお世話になった病床の恩師を気遣っている。

その他

多くの投稿者が年配者に送るメッセージになっているが、母親から子に対しては、Although raising children was a challenge, you gave me the pleasures of being a mother. You deprived me of a sound sleep. You also required a lot of devotion of this fledgling mother. Still I value the days with you because you made me mature. が印象的である。

3) 結論

部下の努力を評価し、感謝しているのが、I would like to thank you again for your effort and I wish you great success in your career. である。NHK番組『クローズアップ現代』を降板する国谷裕子氏に対して、It's indeed disappointing that you will leave the show at the end of March. も納得です。この種の内容の多くは、最後をこのような惜別の言葉でまとめている。

3.2 志願書

読み手は特定できないが、書き手の強い熱意や願望を伴うのが志願書や志望書である。

【課題4】

あなたは秋に海外留学を目指しています。目指す大学には、「志望動機」を送らなければなりません。その志望動機を100ワード前後で書いてください。大学で学びたいことや、将来のキャリアにどうつなげるか、なぜその大学が好きかなど、留学への熱い思いをぶつけてみましょう。大学名は架空で構いません。

志望動機では大学で何を学びたいかを明確にすることが必須である。現在の自分を紹介し、応募先での研究を将来のキャリアにどのように生かすことができるか示すことがポイントとなる。応募先の大学あるいは学部を選んだ理由も欠かせない。

1) 導入

応募時期になると担当者は多忙になり、時候などのあいさつを読んでいる余裕はない。最初から要件を切り出さなければ、別の部署に送られてしまうかもしれない。手短に、I'm including an application form to enter your university as a scholarship student this autumn. や I am writing to apply for the full-time MBA course at your university starting this fall. と書けば、書類を読んでもくれることだろう。

2) 本論

動機を述べる

簡単に自己紹介を兼ねて、I have been interested in what is happening around the world and have always wanted to do something to help underprivileged people through journalism. To fulfill this dream of mine, I need to learn how to think and act globally ... とすれば、応募動機への導入となる。

大学や学部と言及する

動機に絡めて大学や学部について言及する必要がある。The primary reason that I would like to study at your university is that it offers an academic course on communication studies for retirees. がその1例である。相手にほめられれば悪い気はしないので、The reason that I would like to study at your university is that it has a renowned accounting

program that is more advanced than any in Japan. とすれば大学も門前払いにはしないだろう。

3) 結論

最後の一押しも重要である。I would be honored to be admitted to and study at A-one University. でもよいが、I hope that you will approve my application. I am determined to work hard, and wish to be an active member of your university. のように、留学に対する熱意を強調したいものである。

3.3 紹介文

国際交流が盛んになり、自分や身近な事柄を紹介しなければならぬ機会が増えると思われる。

【課題5】

日本の都道府県や各市町村には、その地元ならではの特産品があるはずですが。自分の住んでいる地域（近隣地域でも結構です）の食べ物、工芸品といった特産品について、その魅力を100ワード前後の英文でPRしてください。買い物好きの外国人ツーリストに向けて。特産品は一つでも、複数でも構いません。

遠来のお客にとって未知の場所は不安であろう。そのような人たちにふるさとを紹介する例を見てみよう。

1) 導入

書き手と地域のつながりを示すために、Iwate Prefecture, where I was born and raised, is famous for its seafood delicacies and traditional crafts. One such delicacy is *hoya*, or sea squirts ... とするの書き手の思い入れが伝わる。Strolling through Iwatsuki in Saitama prefecture, you will be fascinated by gorgeous kimono-clad dolls and ... も分詞構文を利用し、詩的なイメージを作りながら導入している。いずれも特産品の名前をすぐに挙げるという唐突感を薄めることに成功している。

2) 本論

ここでは特産品を具体的に述べることで読み手によりイメージを抱かせることが大切である。食欲に直接訴えているのが、Your stomach is full of

fresh sea food, vegetables fresh from the garden and local sake. Next morning, tasty rice, healthy miso soup, and handmade pickled vegetables are waiting for you. である。健康志向の時流にのせようとしているのが、Rich in protein and low in salt, this brand miso is popular among health-conscious consumers. である。

3) 結論

この種のジャンルでは次の例のように最後に念を押すとよい。And please don't forget to buy ... Please visit Sapporo during this special season. は命令文になっているが、pleaseを加え、さりげなく売り込んでいる。You won't be able to resist ... や It's worthwhile. などはコマースの決めぜりふを想起させる。上品にまとめているのが、I hope you will enjoy your shopping to the fullest here in Ibaraki. と ... and you will instantly understand the charm of Fukui. である。

3.4 賛否を問う

意見が2つに分かれることがある。その場合は、(a)冒頭で賛否が明確であること、(b)賛否の理由を first, secondly, finally, however などの「つなぎの言葉」で明らかにすること、(c)文法的なミスが少ないこと、(d)論理的であること、の4点がポイントである。

【課題6】

「小学校で英語学習」について、どう思いますか？ 2011年度から、小学校5,6年生では週1コマの「外国語(英語)活動」が必修となりました。20年度までには「活動」を3,4年生に早め、5,6年生では「教科」にする方向で検討されています。あなたはそもそも「小学校英語」に賛成ですか？ それとも反対？ 賛否を示したうえで、その理由を100ワード程度で述べてください。

英語学習に感心がある者にとっては比較的取り組みやすい課題である。

1) 導入

語数が少ないこともあり、最初に結論である賛否を明示するのが一般的な英語の書き方である。

「小学校英語」の賛成派の書き出し例としては、I totally agree with English language education in elementary school. や I favor the English activity in elementary schools. とすれば、読み手にメッセージが明確に伝わる。遠慮がちに、Whenever I am asked whether I agree to the proposal to teach pupils English in elementary schools, I answer I agree, ... としてもよいだろう。

反対派は、I am totally opposed to introducing English as a subject into elementary schools. のように立場を明らかにすると説得力がある。In my opinion, teaching English in elementary school is not necessary. や I don't agree with the opinion that English should be taught in elementary schools. といった書き出しで「小学校英語」の推進に疑問を呈するもよい。

2) 本論

賛否を明示した後はその理由や根拠を挙げるのがよい。

賛成派の理由として研究の成果に言及しているのが、Research suggests that language learning should begin as early as possible. である。視野を広げるといふ観点から擁護しているのが、English is the fundamental tool for being embraced by the international community ... / Children are the future of Japan and need to be exposed to English as much as possible not only in terms of mastering the language itself but also broadening their horizons. / ... tolerance toward diversity can be fostered. などである。

現状を憂えて、反対の意見を展開しているのが、If this continues, no matter how early they are taught, students will not be able to communicate with foreigners in the future. である。I am against English education in elementary school because primary school pupils have to focus on studying their mother tongue rather than a foreign language. は反対表明とその理由を1文で処理している。

3) 結論

賛否の意見を最後に念押しするのが典型的な英語の書き方である。賛成意見を下線部のように条件付きで補強しているのが、Despite the difficulties, it is high time to make English compulsory from the fifth grade and increase the level of English ability ... や If these problems are given sufficient deliberation and well dealt with, I believe English education in elementary schools is beneficial. である。

3.5 選択を問う

賛否を問う課題と類似している。二者択一であるので、最初に自分の立場を明確にするのが基本である。

【課題7】

ペットを飼っていれば、またこれからペットを飼うとすれば、あなたはイヌ派ですか、それともネコ派ですか。どちらかを選んで、その理由を100ワード程度で述べてください。両方飼っている方は、どちらかに絞って。イヌ派でもネコ派でもない人は、別のペットを挙げ、その理由を述べても構いません。

少しでもペットに関心があれば、書くことに苦勞しない。あまりにも身近であるため、ありきたりの内容では読み手に訴えることは困難である。

1) 導入

代表的な書き出しが、a cat/dog person のような表現を応用した I am a budgerigar person at present. である。ストーリー仕立てにして、A Himalayan female cat joined my family about thirty years ago. としても読み手は引き込まれる。

2) 本論

イヌ派

なぜイヌが好きであるか説得力のある主張が必要である。I love dogs for their friendliness, their intelligence, and their loyalty. を始め、When it comes to loyalty, dogs are unrivaled. や It barks at strangers and tries to drive them out of its territory. や The more affection I give them, the more affection they show

me. などである。誰でも知っている理由に付加価値を与えて、Dogs need walks which also encourages the owner to walk. とすれば、読み手はさらに納得するであろう。具体例にして、My wife and I are both big dog lovers. It is said that dogs can sense people's emotions, and our "Sumire," a Boston terrier, can read ours too! とすれば、飼い主とペットの間の愛情が伝わってくる。

ネコ派

イヌ派にとって毎日の散歩は欠かせないが、時には面倒になる。そのような人にとって、ネコのほうがいいかなと思わせるのが、They can live in limited space, are relatively quiet, and don't need daily walking. である。独立精神旺盛で、気まぐれな部分に着目しているのが、Cats are more independent and they'll come and play or snuggle if they're in the mood. である。

その他

ペットブームを反映して多様な動物が推薦された。次の作品では、作者とウサギの間にある「ほのぼのとした関係」が目につかぶようである。I want to keep a rabbit. When I was a kid, my parents bought a rabbit for me. While taking care of her, I discovered lots of things. I knew rabbits aren't like dogs, who are friendly, so I didn't expect anything from her. But to my surprise, after many months, she started to react to my voice. Believe it or not, when I called her name, she turned to me and approached me. ユーモアたっぷりなのが、Come to think of it, my wife was born in the Chinese zodiac year of the Horse. I am wondering if I might have a closer relationship with my spouse by learning how to tame a pony! である。

3) 結論

語数制限のためかもしれないが、結論らしき文言が少ない。ペットに関する話題であることから、感想で終わっている作品が多かった。

【課題8】

お正月の初売りでは、いろんな種類の福袋が、様々な売り場に並びます。あなたは、福袋を購入するタイプですか、それとも福袋は買わないタイプですか。どちらかを選び、その理由を100ワード前後でまとめてください。

イヌ派とネコ派の選択に比べて、このような選択を迫られる人は少ないかもしれない。

1) 導入

福袋を購入するタイプであるか、買わないタイプであるかを最初に明示しているのが、I'm not so attracted to *Fukubukuro* lucky bags anymore. や I have never been the type to purchase a grab bag around New Year holidays. である。冒頭で福袋について簡単に説明してから立場を明らかにしているのが、During the New Year's Holiday we see a lot of "Fukubukuro" or "grab bags" on display at every department store. である。

2) 本論

福袋の実態は？

福袋の性格付けとしては、I think that Fuku Bag is a clever sales strategy that appeals to consumers' new year festive mood to loosen the purse strings. が一般的である。商業主義的な側面を強調して、Lucky bags are not for consumers, but for retailers or wholesalers. も妥当な見解であろう。

具体的に説明しているのが、When the gate is open, they hurry to the corner where piles of grab bags are prepared. They snatch and grab at several bags. They will be sold out in a few hours. である。客観的に描写してはいるが、福袋に対して懐疑的なニュアンスが伝わってくる。

主張の根拠

自分の立場を主張するためには理由を述べる必要がある。自己の主義を明確にしているのは、I always think it best that you should buy products you want when you need them at reasonable prices. や My principle of buying things is based on the idea of getting only items when they are needed in my daily life. である。

次の2作品は自分自身の思い出や体験に基づいている。最初のボーナスで買った福袋について、I still remember I was very disappointed when I found that none of the items in a fukubukuro I bought with my first winter bonus were to my liking. と述べており、筆者のほろ苦い体験が目に浮かぶようである。親類からの福袋のおすそ分けに対して、I gladly accept her offer, but to tell the truth, I wonder why she keeps spending so much money if she just has to give it away. Even if I have to pay a little more, I would rather buy things that I really like after trying them on. と、感謝しつつも、福袋に対する否定的な考えを伝えている。

3) 結論

課題7と同じく、感想文に近いこともあり、結論らしき文言が少ない。

3.6 希望を述べる

現実ではないものの、こうありたいと誰もが思うことがある。想像を働かせる内容になる。

【課題9】

もし過去に戻れるタイムマシンがあれば、あの時点に戻ってやり直したい、と思ったことはありませんか。いつの時点（何歳くらい）に戻り、何をどのようにやり直したいか、100ワード前後で述べてください。

「タイムマシンがあれば……」とあり、内容は現実にはありえないので、文法形式は仮定法になる。

1) 導入

If I had a time machine, I would go back to the days when I was a university student. のような仮定法過去形の書き出しが多くなる。ほかの例として、If I had a time machine, I would go back about 45 years to my childhood. や If I had a time machine, I would go back to my twenties when my late mother spent quality time as a calligraphy teacher. などが挙げられる。少し趣向を変えて、If it were possible, I'd get on a time machine and try playing that song again ...

とすることもできる。

2) 本論

学生時代へ

学生時代、特に高校時代を意識しているのが、Therefore, if it is ever possible to go back in time, I would go back to my high school days. や I would go back to my senior high school days and spend my school life differently. などである。過去の出来事に対する後悔の念は仮定法過去完了形を使って表現する。高校時代の登山部でのほろ苦い体験を綴っているのが、If I had trained harder and been prepared well beforehand, I could have overcome the hardship and would not have caused them these trouble. がその1例である。

恋の思い出

甘い恋心を表現したものが、I fell in love with a beautiful lady from Okinawa and went steady with her. や If I could return to my younger self, I would confess my love to her. である。

職業や趣味

職業や趣味は運命のいたづらに左右されることが多い。However, I abandoned my dream too easily, and chose another job ... では自分の拙速な選択を悔やんでいる。I loved to look at beautiful stars, and to imagine about the universe. Because I liked nature, I wanted to become a natural scientist or an astronomer. は趣味を職業に生かせなかったことを反省している。趣味で後悔しているのが、The idea of joining a band very often occurred to me, but because I was not confident about myself, I didn't choose to join any band. や When I was a student, I was engrossed in running. である。趣味以上に思い入れが強いのが、If I were reborn, I would like to become a professional distance runner. である。

家族への思いやり

大事にしているカセットレコーダーを病院に持って来るように頼んだ病身の祖父に対して、However, my grandmother said no because it was too heavy for her to carry and she wanted him to stay in bed. Now I understand how he felt. とあり、祖父母へのいたわりの気持ちが伝わってくる。成長した

息子の姿に喜びながらも、These days, I do not have enough time to talk and spend with my two sons, ... と現状を嘆き、... but sometimes I open pages of photo albums and meet my little boys in my memories. と親の複雑な心情を述べている。

3) 結論

課題7と8と同じく、感想文に近いこともあり、結論らしき文言が少ない。

【課題10】

年末と言えばジャンボ宝くじ。もし宝くじで、3億円が当たったら、どうしますか？ 用途とその理由を、100ワード前後でまとめてください。

タイムマシンほどの仮定ではないが、現実味の乏しい課題である。少々大胆な発想が必要であろう。

1) 導入

ジャンボ宝くじで3億円が当たる確率はほとんどゼロに近いので、表現は次のように仮定法過去形がふさわしいだろう。If I won 300 million yen in a lottery, I would like to travel through space. / If I won the year-end jumbo lottery and got 300 million yen, I would launch my own business. / If I won 300 million yen in a lottery, I would spend it making a home theater which is equipped with a big screen and great speakers. ifで省いて、Were I to win the lottery and get three hundred million yen, what would I do with it? とすることもできる。

2) 本論

現実派

最も現実的な用途は、If I won 300 million yen in the lottery, I'd have no trouble with money in (the) future. である。親としての愛情を感じるのは、Lastly, I would like to help my son pay off his home loan, and save the rest for a rainy day. である。First, I want to purchase a second house in Kawasaki, where I have lived (for) more than 50 years. も家庭的な願いでしょう。

社会貢献のために

教育のためにと考えているのは、If I won 300 million yen in a lottery, I would establish a free school, an alternative education facility, which accepts students who feel they don't fit into the public school for various reasons. である。ユニークなのは、Horyuji Temple in Nara is said to be the oldest wooden building in the world. We have long been very proud of this fact, but that is rather a thing of the past. と理由を述べ、世界一の木製建造物を東京に建設するという発想である。

趣味に活かす

子どもだけでなく大人の夢でもありそうなのが、It would be great if I were able to play hide and seek in Disneyland. There are many things I would want to try but to charter Disneyland might be the best! である。外国語学習者にとっては、I have long wanted to experience a relaxing and an active life on a foreign island after I retire. も理想的な生活かもしれない。

その他

日ごろから地道な社会貢献をしている人の思いが伝わるのが、I have always wished I could help more, but actually persuaded myself it is better than nothing and that many a little makes a mickle. である。次の作品のように、3億円を分割して役立つのも賢明であろう。If I won 300 million yen in a lottery, I would save half of it so that my wife and I **can could** live happily for the rest of our lives. I would also quit all my present jobs and spend the other half of the lottery money on founding an English school, especially for elderly Japanese people.

3) 結論

These are my plans, and I long to realize them. などが定型に近いが、Oh, how mediocre and common an idea mine is! や To save a lot of money, great perseverance and much time are needed. However, if I got 300 million yen in a lottery, my dream would come true in a day! のように最後にユーモアを交えるのもよい。

【課題11】

海外旅行ができるとすれば、次ほどの都市に行きたいですか？ 都市名とその理由を、100ワード前後でまとめてください。行ったことがある、なしの経験は問いません。

仮定ではあるが、現実味のある話題である。

1) 導入

「どの都市に行きたいですか？」と課題にあるので、早い段階で海外の地名を挙げるのが得策である。すでに行ったことのある都市を挙げる場合と、行ったことのない都市では書き出しが異なる。

行ったことのある都市を挙げた人は、I would very much like to visit Liverpool in the United Kingdom again. や The foreign city which I would like to revisit is London, where I went on a group tour about thirty years ago. となる。

まだ行ったことのないと思われる地名を挙げた人は、I want to go to Zermatt in Switzerland to enjoy sightseeing and climbing. のようになるであろう。前置きとして、If I had plenty of time and money, I would go around the world. や There are many fascinating cities in the world I would like to visit someday. としながら、次の文で具体的な地名を挙げるのもよい工夫である。

2) 本論

選択の理由

説得力を持たせるには明確な理由が必要である。現地の景観や歴史や雰囲気に関心を寄せているのが、I think that there is no greater happiness than staying in the beautiful English countryside and feeling the breath of some of the greatest men in history. や During the bleak midwinter's weekends the museum offered our little adventurers an exciting maze. である。人気小説である *Anne of Green Gables* を読んで、Its moving phrases and imaginative, romantic descriptions of landscapes always fascinate me. としているのも文学の香りに引き寄せられる。

家族との関わりを通して、I became interested in the city on the Adriatic Sea when my wife told me that

Hayao Miyazaki's 1992 animated adventure "Kurenai no Buta" (Porco Rosso) is apparently set in the city. のように述べると、何となく地域に対する親近感が生まれる。

エピソードを加える

But I do remember the school I went to and the apartment we lived in, and I would like to visit those places and see how much has been changed in the last 30 years. Also, now that I am an adult, I'd like to enjoy as much German beers as I could! では過去に訪れた地域の思い出を述べることで再訪の気持ちが高まるだろう。

3) 結論

個人の思い出や感想文に近いこともあり、結論らしき文言が少ない。

3.7 感想

日ごろ感じていること、思っていることを述べる課題である。

【課題12】

あなたがあつても幸せを感じる時とその理由を100ワード前後でまとめてください。

幸福の内容は人によって千差万別だが、日常生活の中に幸せを感じている人が多いことが分かる。

1) 導入

一般的な幸福論の書き出しとして成功しているのが、I recently often find happiness in seemingly small things in everyday life. や I think what makes us feel happy depends on what generation we belong to. である。心底からほろりとさせられ、読み手を一気に引き込ませるのが、My husband passed away on the 8th. The moment I met him 66 years ago, I fell in love with him, thinking ... である。

2) 本論

家族

内容として一番多かったのは家族との触れ合いであった。その1つが、I had a lot of dreams when young. Unfortunately I got old without fulfilling any

of them. Is my life a failure? No, I do not think so, because I have obtained something more valuable—a happy family life. である。具体的な出来事を挙げているのが、People like learning something new. I'm comfortable when I cook meals for my family, too. である。子どもとの触れ合いを述べているのが、I feel really happy when I stroke the heads of my sons during their while they are sleeping. や I feel happy that my son's family visits us once in a while. である。夫婦の絆を描いているのが、I feel happiest now when I'm with my husband while eating, talking and doing housework together. である。I feel the happiest when I receive love letters from my daughter. もよき思い出として実感させられる。

趣味

時間を忘れさせてしまうのが趣味の最大の魅力であろう。読書では、I feel happiest when I'm engrossed in reading various books in my cozy study. My curiosity knows no bounds; it expands as I read from one book after another. や The happiest moment? I am filled with euphoria when I am reading classical literature written in English ... である。The Beatlesの歌を聞いている瞬間が最高の幸せとしているのが、Now I am already over 60 years old, but every time I listen to their songs, I find something new in them and feel motivated. である。Traveling in Nara Prefecture almost always gives me something invaluable for my body and soul. は旅行に、While running, I can enjoy the beautiful scenery and can breathe clean air. は走ることに幸せを見出している。

なるほど!

珍しい視点を提供しているのは、Driving with the radio on makes me relax because it feels like I'm on a long journey. Sometimes I can rearrange my schedule in my head. Even though it can be difficult, good solutions and ideas come up. や The happiest moment for me is when I get up in the morning after a sound sleep. I asked my daughter, and her answer was quite the opposite. である。

3) 結論

結論というよりは、少し哲学的にまとめているのが、I am a frail and feeling reed, but once integrated into the beauty of art, I feel as if I could live on eternally. No other thing gives me such euphoria. である。I hope I can continue my life in this way as long as possible. や So I feel happiest when I am with my family and share many things with them. I do hope this happy time will last longer. も余韻の残る終わり方である。

4. エッセイ・ライティングの課題

英文構成の代表的なのは、導入(部)・本論・結論(部)であり、大井(2002, p. 108)によれば、「結論部は、全体のまとめです。通常、主題文を別の言葉で言い換えて、全体を要約します。」とあるが、本課題の内容から判断すれば、結論という名称が当てはまらないことがある。むしろ、「結び」あるいは「念押し」といったような内容がふさわしいこともある。共通しているのは、導入で読み手に無理なく興味を喚起し、具体例を挙げて、最後に念押しをするという構成である。その理由として、語数が約100語と限定され、読み手があいまいなことが挙げられよう。

和文英訳からエッセイ・ライティングという形態に変更したが、課題がないわけではない。その1つが、投稿者数の減少である。和文英訳の場合は、常に150以上の投稿数であったが、エッセイ・ライティングになったら、50以下になった。また、和文英訳の課題は『朝日新聞』からの記事から選んでおり、限界はほぼ無いといってさしつかえない。ところが、エッセイ・ライティングの課題については限界がある。

ライティングとしてエッセイ・ライティングは理想に近いが、以上の理由などで、長期間の継続

には限界がある。第1回(2015年4月)から第12回(2016年3月)までは毎月であったが、翌月から隔月になり、現在は和文英訳の方式に戻っている。現実的な理想を追うとすれば、和文英訳などの指導を中心に、エッセイ・ライティングを随時イベントのような形で実施するとよいと思われる。

引用文献

- 秋山朝康(2011)「第14章 ライティングの指導」土屋澄男(編)『新編英語科教育法入門』東京: 研究社
- 大井恭子(2002)『「英語モード」でライティング』東京: 講談社インターナショナル
- 杉浦正好(2007)「英語授業に活かす談話分析」望月昭彦・久保田章・磐崎弘貞・卯城祐司『新しい英語教育のために一理論と実践の接点を求めて一』東京: 成美堂
- 杉浦正好(2014)「英文ライティング指導のための和文英訳」『愛知学院大学文学部研究紀要』第43号: 愛知学院大学文学部
- 松本 亨(1967)「松本亨・英作全集 第1巻」東京: 英友社
- 望月昭彦(2010)「第13章 ライティング」望月昭彦(編)『新学習指導要領にもとづく英語科教育法 改訂版』東京: 大修館書店
- 米山朝二(2011)『新編英語教育指導法辞典』東京: 研究社
- Harmer, J. (2004). *How to teach writing*. Harlow: Pearson Education.
- Harmer, J. (2007). *The Practice of English language teaching* (4th ed.). Harlow: Pearson Education.
- McCarthy, M. & Carter, R. (1994). *Language as discourse: perspectives for language teaching*. London: Longman.
- Richards, J. C. and Schmidt, R. (2002). *Longman dictionary of language teaching & applied linguistics* (3rd ed.). Harlow: Pearson Education.
- Ur, P. (1996). *A course in language teaching*. Cambridge: Cambridge University Press.